

ITパスポート試験支援講座

社会人対象

(専門予備校提供)

9月中旬開始予定
受講生募集
無料

ITパスポート (Information Technology Passport Examination) 試験は、情報処理推進機構 (IPA) が実施し、経済産業省が認定する日本の国家試験です。

IT化が進む現在、ITの基礎知識、ITを活用する知識は職種を問わず求められます。AIやビッグデータ、IoTといった技術に関する知識や新たな手法に関する知識を身につけ、ITの基礎知識だけでなく経営管理やマネジメントの基礎知識など幅広い分野の総合的知識を問う試験に挑戦しませんか？

学習内容

* 令和7年4月現在

分野	大分類	中分類
ストラジ系	1 企業と法務	1 企業活動
		2 法務
	2 経営戦略	3 経営戦略マネジメント
		4 技術戦略マネジメント
		5 ビジネスインダストリ
	3 システム戦略	6 システム戦略
		7 システム企画
マネジメント系	4 開発技術	8 システム開発技術
		9 ソフトウェア開発管理技術
	5 プロジェクトマネジメント	10 プロジェクトマネジメント
	6 サービスマネジメント	11 サービスマネジメント
		12 システム監査
テクノロジー系	7 基礎理論	13 基礎理論
		14 アルゴリズムとプログラミング
	8 コンピュータシステム	15 コンピュータ構成要素
		16 システム構成要素
		17 ソフトウェア
		18 ハードウェア
		19 情報デザイン
		20 情報メディア
		21 データベース
		22 ネットワーク
		23 セキュリティ
9 技術要素		



[ITパスポート試験のオンライン説明会]

令和8年7月17日(金) 15時～16時
申し込みが必要です (〆切令和8年7月16日)

<https://forms.office.com/r/jnS7D7tZaS>

講師：独立行政法人 情報処理推進機構
デジタル人材センター 岡地 拓海氏



[講座申込はこちらから]

申込：R8/7/17(金)9時～9/3(木)17時

<https://forms.office.com/r/Q63EmyehZN>

2次募集定員：先着96名
(定員に達し次第終了)



ITパスポートって何？

Q：ITパスポートってどんな試験？

A：ITパスポートとは「情報処理技術者試験」のうち最も簡単なエントリーレベルの試験であり、「情報処理の促進に関する法律」に基づく国家試験です。ITエンジニアだけでなく幅広い層にITに関する正しい知識が必要であるという認識のもと、平成21年4月に新設されました。令和6年度には、累計応募者数が234万人を超えた人気資格です。

ITパスポート公式ページ

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>



Q：ITパスポート取得のメリットは？

A：実は現役のITエンジニアにとって、ITパスポートはほとんど意味のない資格です。理由は簡単で、ITパスポートの内容は「ITエンジニアならば知っている当然」のことばかりだからです。

逆に言う「ITエンジニアを目指すならば知っておくべき基本の内容が詰まっている」ということです。ITエンジニアを目指して勉強したいけど何から始めたらいいのかわからない...という方にとって、ITパスポート対策は良い勉強になると思います。



Q：事務系職種への就職には有利になることも？

A：ITパスポートはIT系職種以外にも有効な試験です。

事務系職種の方でもPCやネットワークに触れる機会は年々増加しており、ITから逃れることはできない状況になってきています。そんな中で、基本の情報リテラシーやセキュリティ対策を知っておくことは大きなメリットになります。

企業では、DXを推進するためITパスポート試験を活用して社員のITリテラシーの向上に活用しており、合格していると就職の際には有利になることも。

- 注) ・申込者は、「ITパスポートの活用に関する講演(4/17または7/17)」を必ず受講してください(見逃し配信可能)。
・本事業は試験合格者の増加を目標にしておりますので、講座受講後にITパスポート試験を必ず受験し、合格についてお知らせ下さい。
(人数を把握する目的ですので、氏名等は一切外部には公開いたしません。)
・試験を受ける際の受講料はご自身でご負担ください。
・学習期間は9月中旬～1月中旬を予定しています。

[富山大学データサイエンス推進事業]

詳細はこちらのHPをご覧ください。

<https://dstoyama.adm.u-toyama.ac.jp/social/>



[お問い合わせ]

富山大学DS・DX推進事務室

Mail: dsjm@adm.u-toyama.ac.jp